

## 4-2. ケーススタディ対象地区

国土交通省では、平成16年(2004年)6月に国土交通省の環境政策の基本的な考え方をとりまとめた国土交通省環境行動計画を策定している。

この計画では、『環境の切り口から意欲ある者(トップランナー)の具体的な取組に対して、関係省庁と必要な連携を図りつつ、制度の整備・充実を含む支援策を講じる』としており、その具体的な方策の一つとして、一定の地域において、様々な政策資源を総合的に活用して集中的かつ効果的な支援を行い、かつ、その効果を検証するモデル事業を公募等により実施していく。』としている。

ケーススタディ対象地区は、この『国土交通省環境行動計画モデル事業』に選定されている地区の中から、市民・企業の環境への取り組み意識が高い、「大阪市西区モデル地区」、「北九州市小倉北区モデル地区」をケーススタディ対象地区として選定した。

【図 国土交通省環境行動モデル事業の実施地域とケーススタディ対象地区】

※“( )”内の数字は、都道府県、または市区内に位置づけられたモデル事業地区の数を示す。  
 ※ケーススタディ地区は、ピンクで示す。  
 ※表示している対象地区は、平成16年(2004年)～19年(2007年)までで選定されている地区である。

